

目指そう世界文化遺産

# 世界の阿蘇を知る

ASO caldera

## 「若手研究者募集」

令和5年度

阿蘇世界文化遺産登録推進協議会<sup>※1</sup>では、

「阿蘇」の世界文化遺産登録を目指しています。

そこで、熊本県は、「阿蘇」とそれに関わる人々の歩みに

焦点を当てた研究をはじめ、

多分野から様々な視点による研究を募ります。

これにより、「阿蘇」の新たな学術的価値を見出し、深化させて国内外に発信し、

世界文化遺産登録に向けた機運を盛り上げていきます。

※1 熊本県、阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村及び西原村が平成21年(2009年)に設置。

- ◆応募資格 若手研究者(令和5年4月1日時点で満20歳～満40歳)
- ◆募集人員 4名以内(審査により選考)
- ◆研究期間 審査結果通知(令和5年6月中旬～下旬頃)  
～成果報告会(令和6年2月中旬)
- ◆対象分野 考古学、文献史学、文学、美術史学、歴史地理学、民俗学、  
景観学、観光学、建築学、工学、農学、植物学、火山学等
- ◆実費負担 採用1件につき上限50万円(所得税を源泉徴収した額を交付)
- ◆成果報告 論文提出及び研究成果報告会における報告
- ◆応募締切 令和5年6月16日(金)消印有効
- ◆結果通知 令和5年6月中旬～下旬頃

(参考)令和4年度採用テーマ

- 「阿蘇博物学史の基礎的研究  
— 薬品会・博覧会に出品された阿蘇の天産物 —」
- 「阿蘇カルデラ南西部における神社分布と地域的傾向の基礎調査」

「阿蘇」は人の生業(なりわい)が作り上げた文化的景観を顕著な普遍的価値として、世界文化遺産登録を目指しています。この価値を構成する基盤(属性)として下の4つに整理しました。



資産の属性①

外輪山上・カルデラ壁・カルデラ床・中央火口丘に明瞭に区分されて残された土地利用のパターン



資産の属性②

土地利用パターンを成り立たせてきた野焼き・放牧・採草の草地管理システム



資産の属性③

豊富な湧水・伏流水の治水・利水システム



資産の属性④

火山信仰及び開拓に関わる信仰形態・伝承の証拠

